



## 語り部講演会（広島の実験について）

先週の金曜日に、広島から講師の笠岡貞江さんをお招きして、広島の実験について話を聞くことができました。社会の授業で事実として内容を知ることはできても、なかなか実際に体験した人の話を聞く機会は滅多にあるものではありません。自分自身も修学旅行等で長崎の実験の話や沖縄の地上戦の話を聞いたことがありました。そのときは他人事と思っていた戦争が、実際には身近にあったことや普通に生活している人にも深く関わってしまう戦争の恐ろしさを知りました。今回もいつも通りの生活をしている人に甚大な被害がおよんでいます。今回の話を聞いて、いろいろな感想を抱いていると思います。その気持ちをしっかり大切に、戦争というものがおきない世界にしていくために、小さなことでもやっつけていきましょう。また、みんなの感想を掲載するので、考え方を共有しながら多様な考えに触れていきましょう。



### みんなの感想

原爆が落ちて、被害を受けた人や放射線で病気になった人が差別をうけているのはかわいそうだと思う。みんなたちは、そこに普通に生活していいだけで何も悪いとはしてないから差別するのはおかしいと思う。原爆で大やけどをした人のイラストがすこいせんこだった。戦争があった時代に生まれてないから、本当にどうしてそんなにかわいげないイラストや語られた話からでも戦争はやめてほしいよんを伝えて改めようと思えることができました。

6年生の時に、学校で原爆の講演会があり、ものすごく怖かったのを覚えています。その講演会があったおかげで、今日の講演会も理解できました。家族を失う悲しさや、原爆の怖さなどを改めて知ることができました。私たちの世代が二度と同じあやまちをしないように、戦争や原爆の恐ろしさ、命の大切さなどをみんなが、この講演会などで知るといいなと思います。これから、このような講演会を大切に思っています。

この言葉を聞く前は、戦争についてのことや原爆について少し勉強したというところだったが、実際に話を聞いていると、戦争の恐ろしさや、原爆に対する怒りが溢れてきて、こらえてきて、今自分が学校で勉強していること、ご飯を十分に食べていることが不思議に思えてきた。僕も戦争についてもっと知り、後世に伝えていきたい。

被爆体験の話を聞いて改めて原爆の恐ろしさを実感しました。話しか、原爆のことは聞いていませんでしたが、もし自分たちが死んでいたら、親戚がいないのがさみしくて、生きる喜びがなくなっていくと思ったからです。非核平和宣言に僕は賛成です。二度とこのお話を思い出してほしくなりました。この話を聞いて、「平和」が一生続くかな笑顔でお話したいと思います。平和が一生続くことを願っています。

### 明日の予定

12月 6日（火） 45分日課

①国語 ②音楽 ③英語 ④国語 ⑤社会 ⑥理科

○ “2学期を振り返って”と”テスト反省”と”今年の漢字”をまだ提出できていない人は明日までに提出しましょう。

○ 明日のスピーチは岡田くん・岡谷くん・小澤さんです。